作成日：2026 年　9 月　28 日

研究協力のお願い

昭和医科大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究科題名：緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術における日勤帯手術と夜勤帯手術の比較

１．研究の対象および研究対象期間

2020 年 1 月から 2026 年 12 月までに昭和医科大学横浜市北部病院にて腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行された患者さん

２．研究目的・方法

【はじめに】胆石性胆嚢炎などの良性胆嚢疾患においては、腹腔鏡下胆嚢摘出術は標準術式となっています。さらには、急性胆嚢炎などの疾患では早期の手術が推奨されています。しかしながら、施設の体制等により、夜勤帯での緊急手術自体が困難である場合も遭遇します。今回、日勤帯・夜勤帯、それぞれで施行した緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術について検討し、研究を遂行します。

【対象と方法】2020 年 1 月から 2026 年 12 月までに昭和医科大学横浜市北部病院にて施行した腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した患者さんとします。定期手術と、緊急手術は日勤帯、夜勤帯の群に分けて検討します。なお、病理結果にて悪性疾患と診断された方は除きます。

【結果の予想】上記緊急手術の患者転帰、手術時間、出血、在院日数、合併症、術中所見などを比較し、日勤帯手術と夜間帯手術の相違点を明らかにします（または、同一性を明らかにします）。

本研究では、病棟に入院中または外来での患者データを取得します。患者データは、病院内の診療録管理室にて「４．研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2030 年 3 月 31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、身長、体重、診断名、既往歴、手術歴、入院日、転入日、転棟日、退院日、在院期間、入院期間、術後合併症、転帰、術前後の検査データ（血算、生化学）、術前、術中、術後の画像データ（CT、MRI、ERCP、術中ビデオ）、手術関連因子（手術時間、術式、術中合併症、手術所見、出血量、

麻酔時間、術中輸液量、輸血量、病理所見）

５．外部への試料・情報の提供

該当致しません

６．研究組織

研究代表・責任者：昭和大学横浜市北部病院消化器センター　　准教授　　榎並　延太

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院　消化器センター　　氏名：榎並　延太

住所：224-8503　神奈川県横浜市都筑区茅ケ崎 35-1　　電話番号：045-949-7000（代表）、内線7813